

「中山間地域において低下懸念のある公共サービスの 維持・向上に向けた官民協働による取組方策調査」

中国地方は全国でも中山間地域の居住人口が多い地域であり、この地域の活性化は中国地域発展にとって欠かせないところですが、そのためには、中山間地域の人口流出に歯止めをかけ、UIターンを促進を図る必要があります。しかしながら、平成の大合併により生活基盤である公共サービスが低下したとする声もあるため、その実態を調査し、いかに維持していくかについて、新しい公共の観点からその担い手づくりについて調査したものです。

本調査では、まず中国地方の中山間地域の状況を概観しました。そして、平成の大合併および人口減少により公共施設や小売店舗等がどのように減少しているかを全国の中山間地域等の状況とも比較しながら調査・検討し、公共サービス等の新たな担い手に関し先進的に取り組んでいる事例を中心に紹介しています。そのうえで、これらサービスの担い手となり得る「新しい公共」を3つのモデルに分類し、それぞれの地域において、どのモデルの導入に取り組むべきかを示すとともに、導入方法等についてとりまとめています。

本調査報告書の構成

- 第Ⅰ章 中国地方における中山間地域の概況
- 第Ⅱ章 平成の大合併及び人口減少による公共サービス等のレベル低下の状況
- 第Ⅲ章 公共サービスの担い手と新しい公共

2011 年 4 月

株式会社日本政策投資銀行中国支店

* 本調査は、中国経済連合会様と共同で行ったものです。